

第4回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会の概要

【開催日時】令和7年11月11日（火） 9:00～11:30（会議）

13:30～16:15（現地視察）

【開催場所】佐渡市 トキ交流会館（新潟県佐渡市 新穂潟上 1101-1）ほか

【参加団体】新潟県佐渡市

石川県及び能登9市町^{※1}

（七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町）

島根県出雲市

宮城県登米市

秋田県にかほ市

コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム^{※2}

（茨城県古河市、結城市、常総市、取手市、坂東市、境町、神栖市、栃木県栃木市、小山市、野木町、群馬県板倉町、埼玉県行田市、加須市、鴻巣市、桶川市、久喜市、北本市、川島町、吉見町、熊谷市、千葉県野田市、柏市、流山市、我孫子市、いすみ市、香取市、東庄町）

※1 当日の出席者は石川県、羽咋市

※2 当日の出席者は栃木県小山市

環境省自然環境局野生生物課、自然環境計画課

東北地方環境事務所、関東地方環境事務所

中部地方環境事務所、中国四国地方環境事務所

<オブザーバー参加>

新潟県・佐渡トキ保護センター

農林水産省大臣官房

農産局

農村振興局

東北農政局

北陸農政局

林野庁国有林野部業務課

関東森林管理局

国土交通省水管理・国土保全局

東北地方整備局

関東地方環境整備局

中国地方整備局

【協議会議事及び概要】

1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者紹介
4. 議事

(1) トキと共生する里地づくり取組地域における取組紹介

①取組み紹介

- 佐渡市、出雲市、石川県（石川県及び関係9市町）、登米市、にかほ市^{※3}、小山市（コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム）より、地域の概要、取組方針、取組を通じて目指す地域の姿、具体的な取組内容等について資料に基づいて発表。

※3 にかほ市は資料共有のみ

②意見交換

- 環境省から佐渡市に対し、ネオニコチノイド系農薬を不使用とする取り組みの普及について質問があり、佐渡市から以下の内容で回答があった。
 - ・農家の方々自身がトキや生態系のために発案して農協に働きかけ、農協がネオニコチノイド系農薬を不使用とすることを決断した。農協がネオニコチノイド系農薬を販売しなくなったことで、佐渡市全体としてネオニコチノイド系農薬の使用がなくなった。離島であり、農協の取り組みと各農家の結びつきが強いことがよい方向に作用したと考えている。

(2) 環境省からの話題提供

①野生下トキのモニタリング（環境省佐渡自然保護官事務所）

- 佐渡自然保護官事務所が日々取組んでいるトキのモニタリング調査について資料を用いて説明。特に、佐渡から本州に飛来したトキについての市民からの目撃情報収集の流れ等について紹介した。

②本州でのトキの定着に向けて（環境省希少種保全推進室）

- 本州での放鳥に向けて策定、公表している「本州等におけるトキの野生復帰に向けた考え方及び確認事項について」、「本州等におけるトキの放鳥の方針」、「本州等に放鳥したトキのモニタリング方針」を紹介した。
- また、本州に放鳥するトキには追跡機器（GPS 機器）を装着して、分布の把握等を行う想定であるため、装着する機器の検討状況や今後のスケジュールについて情報共有を行った。

③自然共生サイトと生物多様性保全推進支援事業の紹介（環境省自然環境計画課）

- トキの野生復帰の取組は、ネイチャーポジティブやOECMにつながるものであることから、ネイチャーポジティブや30by30、自然共生サイトについて、背景や仕組み、日本国内の状況について紹介した。また、自治体等の活動に利用できる生物多様性保全推進支援事業とその活用事例を紹介した。

④意見交換

- 特に意見なし。

(3) その他

- 次回開催地の石川県から、来年は6月に放鳥予定であること、放鳥されたトキの様子を見るためにもぜひ出席いただきたい旨の挨拶があった。
- 環境省希少種保全推進室から、トキと共生する里地づくりネットワーク協議会の規約の一部変更（会議の公開・非公開）に関して提案した。

5. 閉会



写真1 会議の様子

【現地視察の概要】

(1) トキの森公園

●「トキふれあいプラザ」で飼育しているトキの採餌の様子などを観察したほか、親と幼鳥の見分け方等について説明を受けた。

●「トキ資料展示館」を視察し、佐渡市よりトキの野生絶滅の経緯や佐渡におけるトキの野生復帰の取り組み、トキの生態や以下のトキを取りまく自然環境等について説明した。

- ・佐渡では昔から「水田の畔の草は刈るもの」という意識があるため、除草剤を使わずに手作業で草刈りをしている。
- ・トキは嘴をセンサーにして餌を探す。他の鳥と採餌の方法が違っているためか、トキがカラスやサギなどの同じ環境に生息している他の鳥と餌の捕り合いをしているところはあまり見かけない。
- ・佐渡においてはトキの天敵はタヌキ、テン、イタチである。中でも木登りが得意で、俊敏で噛む力の強いテンが恐れられている。
- ・佐渡で最大の哺乳類はタヌキであり、それよりも大きい哺乳類は生息していない。そのため、佐渡はトキにとって天敵の少ない安全な環境であり、定着しやすかったのかもしれない。



写真2 トキの森公園における現地視察の様子

（２）トキのテラス

●環境省佐渡自然保護官事務所より説明した。以下概要を示す。

- ・トキのテラスは、団体客でもトキを観察してもらいやすいよう、環境省が設置した施設である。屋上からは、大佐渡と小佐渡の二つの山地に囲まれた国仲平野に屋敷林や水田などトキの生息に適した環境が広がる景色を一望することができる。
- ・「トキのテラス」の屋内展示室には、野外のトキの最新状況について佐渡自然保護官事務所職員が解説する掲示や、トキの歴史や生態を学べる展示物がある。また、トキやその生息環境を観察するためのスコープを設置しており、来訪者が自由に使えるようになっている。
- ・屋上にはトキの観察ルールも掲示している。佐渡で車から降りてトキを観察することができるのは、「トキのみかた停留所」と「トキのテラス」である。
- ・現在、野生下のトキの個体数は推定 576 羽であり、その大部分が野生生まれの個体である。個体数は、トキねぐら出－斉カウント調査の結果等をもとに統計モデルにより算出している。
- ・佐渡においてトキの傷病もしくは死亡個体が発見されるのは年間に数羽程度である。



写真３ トキのテラスにおける現地視察の様子

視察（３）認証水田

●伝統文化と環境福祉の専門学校の五十嵐氏より説明を受けた。以下概要を示す。

- ・佐渡では、認証米「朱鷺と暮らす郷」を作っている。「朱鷺と暮らす郷」として米を販売するには、生きもの調査、江の設置等の複数の要件を満たさなければならない。

- ・場所によっては無農薬・無化学肥料栽培も実施している。
- ・江を設置することで、田んぼの中干し期でも湿地が保たれる。また、畦をもう1本作り江を作ることによって湛水状態を維持しやすく、オニヤンマやサドガエルなどの通年にわたり水が必要な生物も生息することができる。
- ・田んぼアートを実施しており、産地間の交流の場とし、都市の人々に米を購入してもらう良い循環を目指している。
- ・学生が参加できるイベントも開催しており、鎌を持つ、生きもの調査、田んぼアートなど、様々な体験をしてもらう場となっている。



写真4 認証水田における現地視察の様子

以 上